よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

2022 12月号
vol.677

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

福岡同友会 創立六十周年記念事業「新たな飛躍へ」

～先人の経験・知恵に学び、2030ビジョン達成へ～

21世紀型 自立型 企業づくり

「食肉」の「価値」を創造する

～小さくても強い会社になる～

荒木 良太郎 氏（まるよし食肉 株式会社）

福岡県中小企業家同友会
広報情報部 Facebook

［デザインQR］

～中小企業・個人事業主の皆様へ～

経済産業省は、厳しい経営環境を乗り越え、さらなる飛躍を目指す中小企業の皆様を全力でサポートします。

資金繰りにお悩みの皆様へ

- **日本政策公庫等のスーパー低利・無担保融資の継続・拡充**
  申込期限を年度末まで延長。（最大4億円、据え置き期間も最大5年間）
- **資本性劣後ローン**
  民間融資にも有利な資本性劣後ローンを来年度も継続。（最大10億円、融資期間は最大20年）
- **伴走支援型特別保証制度**
  金融機関の支援を条件とする特別保証を来年度も継続。（保証料は原則0.2%、最大1億円、保証期間も最大10年）

生産性向上に取り組む皆様へ

- **ものづくり・商業・サービス補助金**
  デジタル枠（最大1,250万円、補助率2/3 ）、グリーン枠（最大2,000万円、補助率2/3）等を新設し、設備投資と生産性向上を幅広く支援。
- **小規模事業者持続化補助金**
  販路開拓に取り組む小規模事業者を支援。（最大200万円、補助率2/3）
- **IT導入補助金**
  経営効率化やインボイス対応、セキュリティ対策のためのITツール導入を支援。新たにパソコンやタブレット等も補助対象に。
- **事業承継・引継ぎ補助金**
  事業承継・M&A後の経営革新費用、M&A時の専門家費用などを支援。

事業再構築に取り組む皆様へ

- **新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編など、思い切った挑戦を支援します（事業再構築補助金）。**
  - 回復再生応援枠（最大1,500万円、補助率3/4(※)）、コロナ禍、原油高・物価高等の影響を受けている皆様への緊急対策枠を創設。（最大4,000万円、補助率3/4(※)）
  - グリーン成長枠では、これまで必須であった売上高減少の要件を撤廃。（最大1億円、補助率1/2(※)）
  - 賃金引上げ及び雇用増などに取り組むための枠も継続。

※中小企業の場合

経済産業省
九州経済産業局

・資金繰り支援と
・事業再構築補助金
の詳細はこちら→

・生産性向上支援の
詳細はこちら→

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

まるよし食肉株式会社
代表取締役社長
荒木良太郎（あらきりょうたろう）氏（青年支部）

詳しくは本誌8ページへ

私が荒木さんを紹介します！

株式会社コスミット・アイ
後継者
宮崎 奈津子（青年支部）

荒木さんとは、約5年前にブロック会で知り合いました。

当時荒木さんは副支部長で、入会したばかりの私を気にかけてくれていました。「同友会内で仕事を回す」ということで、新会員の私にも依頼できる仕事がないか声をかけてくださり、青年支部って飲むだけじゃなく、優しい人も多いんだな～と思ったのを覚えています。

そんな荒木さんですが、パソコンが少し苦手なようで、何か困ったことがあると頼ってくる、今では助け合い気兼ねなく話せる仲間の一人です。

また、2泊3日経営指針作成セミナー20期の同期でもあり、夜遅くまで語り合いました。食を扱う業界でコロナの時期も大変苦労されていましたが、新しい展開へ向けて必要とされる企業としてどうあるべきか常に考えられています。

今期は青年支部の支部長を務められ、会員数が減少する中、仲間を増やすべく奮闘されています。同友会の学びを深めながら強い会社へと成長していく、荒木さんの会社の発展が今後とても楽しみです。

撮影後記

青年支部に所属する、まるよし食肉㈱の三代目社長、荒木さんをお訪ね致しました。

肉の加工現場を見学させていただきました。丁寧な肉の処理をされている様子を見て創業者のお爺さんのDNAが息付いていることを感じることができました。

荒木さんのひたむきな表情を撮ることができ、感謝しております。

撮影取材のご協力ありがとうございます。

撮影・文／株式会社ココスイメージ　富谷 正弘（玄海支部）

特集

福岡同友会 創立六十周年記念事業

「新たな飛躍へ」

～先人の経験・知恵に学び、2030ビジョン達成へ～

本年度は、来年に福岡同友会創立六十周年を迎えるに当たり、創立六十周年記念事業実行委員会が活動しています。今回は実行委員長、副実行委員長として活動されている三代表理事にお話を伺いました。

文:南 史聡（未来文書株式会社／西支部）

先人に感謝、六十年の歴史を振り返る

まず福岡同友会の六十周年の意義についてお聞かせ下さい。

六十周年記念事業開催の意義は同友会の歴史を振り返って、先人に感謝をするというところです。**これまでの六十年で、先輩方がその時代時代の中で苦難を乗り越えてこられたところに今の同友会があります。そうした経験や知恵を学ぶことで、今後２０３０ビジョンの達成を再認識するということです。**

実は六十周年の話が始まった頃、新型コロナウイルスの影響がどこまで続くかわからない中で、盛大にやるのか、ほどほどにやるのかという議論がありました。ただ、六十年というと人間でいうところの還暦ですから、やはり一つの節目としてしっかりやっていこうということになりました。

五十周年のときは歴史というよりも会員にスポットを当てた面が強く、寄稿をいただいたり、チャリティ事業をやったりしたこともあって、今回は特に歴史を振り返ることを意識しています。

六十周年事業の具体的な内容をお聞かせください。

現在、特徴的に取り組んでいるのは増強です。

福岡同友会はずっと増強目標を達成できない状態が続いているので、この十周年を一つの区切りとして必達しようと取り組んでいます。以前は目標設定が大雑把で、理事会が押し付けのようなところがあったのですが、今は各支部からいただいた数字をそのまま目標にしています。

イベントとしては、まずは**来年五月の第61回定時総会を創立六十周年記念総会とします。**基調講演と経営体験報告を考えています。講演者と報告は、今回は原点に立ち返るという意味で、福岡同友会の会員から選ぶつもりです。

それから、**記念事業の一環として六月に女性経営者全国交流会を予定しています。**これは２０１３年度に当時の女性部が誘致されたものです。テーマは「Ｗｅｌｃｏｍｅ〝ＣＨＡＮＧＥ〟ー」で男性の参加も呼びかけています。

そして、**七月には結びとして六十年の打ち上げをやろうと考えています。**具体的な中身はまだ確定していないのですが、今はいろいろなアイディアを出し合ってひとつひとつ検証しているところです。

最後に、**これらを六十周年記念誌として、来年中にまとめて発行します。**

記念誌は同友会の歴史をしっかり記録して、読んでもらえる記念誌にしたいですね。写真資料は諸岡昭三郎さん（ひびき支部）が膨大な資料をお持ちでして、それをスキャニングしています。まさに同友会の歴史を知るうえでの貴重な資料です。

歴史を記録するのは今しかない

今回は同友会の歴史にポイントを置くということですが、なぜ歴史なのでしょうか。

同友会というのは基本的に自主・民主・連帯の精神で運営しているという大変なところがありますが、その中で培ってきたものがあります。例えば、今でこそ人間尊重の経営というのが会の中で根強くなっていますが、同友会が創立された頃は、大企業と中小企業との大きな格差があり、大企業に偏った経済政策を是正し、中小企業の存立と発展、社会的地位の向上を求める運動を展開していました。労使の対立よりも前の段階からそうした理想を持って取り組んできた経緯があります。同友会ではこれまで金融アセスメント法や中小企業憲章の運動などに取り組んできましたが、その時に先輩たちがどういう流れの中で何をやってきたのかを知ることで、今後起こるであろうことにも対処できるようになると思います。

会社でも創業記念日というのがありますが、それは創業者の思いや考え方を伝える機会になっています。同友会も同じで、歴史と理念を連綿と伝えることが今後の継続、発展に必要なことだと思います。

そして、六十年を迎える今、諸岡さんのような会歴の長い方がご健在のうちに冊子として記録できる機会はあまり残されていないと思います。それで、**この六十周年を一つの節目として福岡同友会の歴史を残しておく記念誌事業を盛り込んでいます。**

南広報部会長

来年度からの同友会についてお聞かせください。

第五十九回定時総会で２０３０ビジョンが採択されました。来年度以降はこれを達成するために福岡同友会としてもっと具体的な方針を決めていこうということになります。

現在、２０３０ビジョンに掲げる企業づくり、地域づくり、同友会づくりは、それぞれ人を生かす経営推進本部、仕事づくり本部、地域づくり本部、同友会づくり本部として組織化し、実現に向けて取り組んでいますが、それに対するロードマップや具体的なガイドライン、進捗の確認などはまだできているとは言えません。そういう意味では福岡同友会にはまだまだ多くの課題があると思います。

菅原前広報部会長

今後は２０３０ビジョンをより具体的な行動に落とし込んで、ＰＤＣＡを回していかなければならない。六十周年事業というのはその意識改革のきっかけになると思っています。

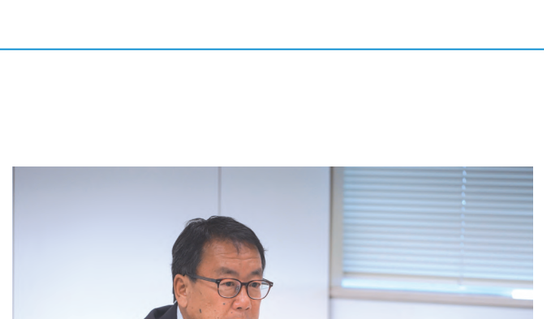
濱田委員長

います。安定した利益が出るようになると、その時点で学ぶ姿勢がなくなるような感じです。しかし、全国を見ると、大きな目標を立てて、もっと良い会社、もっと良い経営者を目指す会社が同友会を引っ張っていますし、全国で活躍しています。

福岡同友会にも規模が大きな会社はたくさんあるのですが、ある程度のところで満足するのではなく、その先を目指してほしいし、今後の福岡同友会を引っ張っていってほしいと思います。

また、会員の皆さんは経営指針の作成と実践に取り組まれていると思いますが、日常の中で出てくる課題を解決する道のりと同友会の学びがうまく結びつけられていないというところがあるように感じます。

今はコロナ禍とは違う問題が表れてきていて、来年度以降も厳しい状況が続くことが十分考えられる中で、問題点をどう解決するか。日常業務の中で目先を見がちにはなりますが、やはり将来を見据えて、自社の経営と同友会活動をどう結びつけていくかを学ぶことが重要だと思います。



市丸代表理事

鶴田代表理事

60周年記念事業の開催意義

① 過去60年の福岡同友会の歴史を振り返り、これまで関わっていただいた方々に感謝する。

② 先人たちの経験や知恵に学ぶ事で、これからの10年を見据えることが出来る。
2030ビジョンの達成に向けて再認識と実践行動が誘発できることで自社の発展につながる。

③ 同友会理念の確認・共有で同友会運動や活動のモチベーション向上につながる。

④ 50周年以降入会の会員の方の福岡同友会への理解が深まる。

⑤ 会員増強促進が期待できる。

⑥ 福岡同友会のメッセージを行政、金融機関、他の経済団体及び教育機関などに発信することで、
福岡同友会の存在意義や価値を知ってもらう事が出来る。

今の福岡同友会の課題は何でしょうか。

中小企業家しんぶんに「同友会のつまみ食い」という言葉がありましたが、ある程度良い会社になったところで満足する会社が多いように思います。

最後に会員の皆様へメッセージをお願いします。

高谷代表理事

（高谷）六十周年を迎えるにあたって、過去がどうだったかということを振り返るということで、同友会がどんな考えのもとでどんな運動を行ってきたのか。活動と運動という両面がある中で、その歴史を会員の皆で共有して、同友会がそれぞれの会員が抱える課題を解決するための集まりであることを再認識していただくために今回の六十周年事業を企画しています。この先の五年、十年、二十年に向けて進んでいくために積極的に参加してみんなで盛り上げたいと思います。

（鶴田）今回のテーマである「新たな飛躍へ！」というのは、私たちが提案したものですが、まずは先人に感謝をすること、あなたの今は先人がいたからこそあるもので、これから先はあなたがいるから未来があるのだということですね。そして、そのために２０３０ビジョンがあるので、これから一緒に努力していきましょう。全てが全て達成できないかもしれないけれど、少しずつでもいいからステップアップして前進していきましょう。

（市丸）六十周年を節目として、原点に立ち返るという話がありましたが、あなたにとって同友会とは何ですかという問いを最近考えています。何のために同友会に入っているのかということですね。当然みなさん自社を良くしようと思って入ったのは間違いないと思いますが、同友会をどう活用して、会社経営にどう生かしているのか、社員を本当に幸せにできているのかということを、もう一度振り返る大きな機会にしていただければありがたいと思います。

取材へのご協力ありがとうございます。

「食肉」の「価値」を創造する

～小さくても強い会社になる～

まるよし食肉株式会社　代表取締役社長

荒木 良太郎 氏 【青年支部】

取材／広報部
文章／菅原 弘（東支部）
写真／富谷正弘（玄海支部）

3代目社長は、生き残るために自社の強みを継承しながら他社と差別化を図った戦略に挑みます。その中で同友会の学びが活かされていくのでした。

デザインQR

用語集

後継者として入社

今回、取材班がお伺いしたのは筑紫野市二日市にある、まるよし食肉㈱です。代表取締役社長の荒木良太郎さんが、笑顔で迎えてくれました。昭和40（1965）年に祖父・良一さんが太宰府市五条で『まるよし精肉店』として創業しました。その後、肉の処理業・販売業に業態を変え、スーパーや販売店に卸しています。昭和60（1985）年に現在の地に移転してきました。2代目の父・良巳さんは病のため他界し、荒木さんが3代目になります。

荒木さんは高校を卒業し、家業に入ります。「会長の孫が入社した」と周囲の期待はとても大きく、同業者の会にも顔を出していました。多感な時期でもあり、荒木さんはかなりのプレッシャーを感じていたと言います。一度は退職し家を出て飲食の世界に入った時期もあったそうです。23歳の時、改めて後継者として入社するのでした。

食肉の価値を創造する

同友会には高校時代の友人の誘いで入会しました。26歳の時です。

同友会の特徴的な活動である「あすなろ塾」や「経営指針作成セミナー」には33歳、専務時代に受講しました。策定した経営理念は次の通りです。

食肉の『価値』を『創造』する。

屠畜場で屠殺された牛や豚が枝肉、すなわち頭部・尾などを切り取り、皮や内臓をのぞいた状態で搬入されてきます。冷所で保管された枝肉は、背骨に沿って肩・背・腿などの部位に分かれていきます。この作業は包丁一本で行われるそうです。

単に肉を右から左へ動かしているわけではなく、加工することでいかに価値を付けるかが、生き残るために必要だと考えます。

「先代から『骨に肉を付けるな』と教えられました」と荒木さんは語ります。その教えは当然歩留まりの良さの追求があるのですが、「命を頂く者として丁寧に時間をかけて行いなさい」ということです。

荒木さんも現場に入っていた時は、多少肉が残っていても時間の効率が良いと考えていましたが、経験を重ねるにつれ、その意味を実感するようになりました。

課題は『技術の伝承』にあります。荒木さんは現在、原則として現場に立つことはありません。この技を持つ指導者が高齢となり、引き継ぐ社員が少なくなっています。現在は外国人の実習生が作業をしています。

社長に就任

平成30（2018）年、3代目社長に就任します。34歳の時です。

「長いこと、№2として働いていましたが、その間先代への不満を多く抱いていました。**いざ自分がトップに立ってみると、見える景色は一変し、先代の苦労を理解できるようになりました。尊敬の念が増してきます。**」

そして**自社の強みを『仕入れ力』と表現してくれました。**

創業以来、永きにわたって培ってきた仕入れ業者との信頼関係を指します。肉はいつも同じ状態とは限りません。自社の希望ばかりを言うのではなく、先方の思惑も受け入れることが信頼を構築すると言います。競り市場だけでなく、相対（取引）といって直接購入のルートも開いています。

一方、弱みとしては『価格決定権』を持ちづらい点です。大手スーパーなどからは、足元を見られかねません。そこで荒木さんが今後の戦略を練ります。

自社での販売力をアップする

『まるよし』で加工した肉を自社で売る、すなわちB to C（小売り）することでノウハウが構築できて、販売の際の説得力が増します。それはまたB to Bにもいい影響をもたらすと考えています。

そのためには、工場施設の見直しが必要となります。HACCP（ハサップ）認定を目指すうえでも考慮されることです。HACCPとは、「Hazard（危害）」「Analysis（分析）」「Critical（重要）」「Control（管理）」「Point（点）」の5つの単語の頭文字に由来する、衛生管理の手法です。必須の条件となってきます。

また最近では人手不足からスーパーのインストアのチルド（冷蔵）加工も求められ

自立型企業とは、小さくても強い会社。皆が同じベクトルで進むと多少の波も大丈夫！

たり、同業他社撤退による学校給食の需要比率が高まってきたりしています。「地域に必要とされているという実感があります」と荒木さんは語ります。

同友会での学び

「同友会では、その時々での自社の経営課題を解決するヒントをいただいております」。

林田浩暢さん（㈾若竹屋酒造場／りょうちく支部）の『迷子の3要素』（自社がどこにいるのか、どこに行くのか、どうやって行くのかという経営指針の考え方）、中村こずえさん（㈲エス・ケイ・フーズ／長崎同友会）の『障がい者雇用』（障がい者に限らず、従業員の個性を活かす経営）、永峰智浩さん（㈲永峰養豚場／宮崎同友会）の『経営者の覚悟』（養豚業における設備投資の考え方）など、大きな刺激と勇気をもらっていると言います。

支部長として

青年支部に所属して12年目となり、現在支部長を務めています。「私が入会以来、今が最少の会員数です。マンパワーの不足を痛感しています。コロナ禍で2年ほど青年支部が得意とする『懇親会』での入会促進ができていないことが響いています」。支部長の方針としては、まず会員数のアップを目指しています。

そして支部特有のイベント、障がい者支援『フレンドシップ・フェスティバル』も来年4月に3年ぶりに開催することが決まりました。

「私自身が、楽しく支部長として、また経営者として活動することで、会員さんの中から『私も支部長をしてみたい』と手を挙げてくれるような雰囲気を作りたいと考えています」と熱く語ってくれました。

SDGsの取り組み

現在の経営ではSDGsの取り組みも欠かせません。「SDGs17の目標」では、

2 飢餓をゼロに
コロナ禍でも仕事を続け、食肉を提供をした。

5 ジェンダー平等を実現しよう
雇用において反映させている。

8 働きがいも経済成長も
同友会の「人を生かす経営」の実践。

12 つくる責任　つかう責任
ゴミ、特に段ボールの分別リサイクル。

15 陸の豊かさも守ろう
仕事そのものがこの目標の実践。

またこれとは別に、地域への貢献として、お祭りへの参加や学校での招待給食に参加しています。「子どもたちと一緒に給食を食べるんですが、その前に苦労していることや命の尊さを話しています」。

小さくても強い会社

取材の最後に、荒木さんが考える自立型企業についてお伺いしました。

「小さくても強い会社だと思います」と即座に返ってきました。同友会では『強じんな経営体質』を、「全会員が経営指針を作成、実践し黒字企業をめざす」（冊子『同友会がよくわかる』P17）と定義しています。「労使見解にのっとり、従業員との信頼を構築していくこと。社内の環境を整備していくこと。みんなが同じベクトルで進んでいくことだと思います。強くなれば多少の波でも大丈夫ですね」と笑顔で締めていただきました。

取材協力ありがとうございます。

まるよし食肉株式会社

創　業　1965年 1月
住　所　筑紫野市二日市南3-7-5
電　話　092-922-6683
従業員数　20名（うちパート10名）
事業概要　和牛・国産牛肉・国産豚肉・国産鶏肉などの食肉全般。またウインナーや豚足の加工品。

https://maruyoshi-shokuniku.co.jp

『企業変革支援プログラムVer.2』が発行されました！

全国の経営指針の実践、社員教育、共同求人などの実践を教訓としてまとめた『企業変革支援プログラムVer.2』が発行されました！『Ver.2』は『企業変革支援プログラムステップ1』と『同ステップ2』を全面改訂して1冊にまとめたものです。同友会理念と会員の経営実践をベースに多くの英知を集めて開発しました。企業を取り巻く情勢が大きく変化する中で、自社をセルフチェックし今取り組むべきことを誰でもわかりやすく見える化。行動に移せるすぐれたツールです。

A4判80ページ、頒価2,000円
お求め、お問合せは、福岡同友会事務局にお願い致します。

2022年度 第6回 理事会だより

開催日時　2022年10月26日（水）　14時30分～17時39分
会　　場　福岡県中小企業振興センター401
出 席 数　42名（出席率93.3%）　議　　長　坂本　敏弘（副代表理事）

○予算執行及び配分に関する考え方について

現在理事会において、予算執行と配分に関する考え方について検討しています。

○中同協 全研in長野の参加目標について

来年3月2日～3日に長野で開催される中小企業問題全国研究集会は、今回はハイブリッド開催となっています。福岡からは、参加目標を対面20名、ズーム20名の合計40名とすることとなりました。

○会員企業の動き

■経営革新計画承認企業　2022年9月（県82件／うち同友会会員・企業3件）

- ㈲西田モータース　　西田　茂 氏（飯塚支部）
  テーマ／オートマオイル交換機導入による高付加価値型サービス提供
- ㈱タカハシ　　高石　稔 氏（大牟田支部）
  テーマ／自動加熱調理機及び移動販売用牽引トレーラー導入による商品のあらたな生産と販売
- ㈱魚義　　倉八　貴裕 氏（久留米支部）
  テーマ／創業75年の老舗料亭の特性ポン酢（よしポン）の製造販売

※累計で福岡県全体では9,069件、会員企業は延べ546件。

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

一般社団法人福岡県中小企業家同友会　2022年7月～9月期

第122回 景況調査ダイジェスト

「停滞感あるも、期待値は上向き。楽観視せず、早急に経営環境の変化に対応する具体的取り組みを！」

調査要領

調査時期　2022年9月1日～2022年9月30日
対象企業　（一社）福岡県中小企業家同友会　全会員企業2,223社（9月30日時点）
調査の方法　会員専用サイト（一部FAX）にて配信、自計記入

回答企業の概要

回答数　361社の回答（回答率16.2%）（製造業53社、建設業71社、商業流通業39社、サービス業197社　不明1社）
企業規模（従業員数）　0～10名以下　208社、11名～20名以下　56社、21名～50名以下　60社、51名～100名以下　19社、100名以上　17社、不明　1社
企業の所在地　福岡地区233社、北九州地区50社、筑豊地区35社、県南地区33社、県外9社、不明1社

概　況

2022年7月～9月期は、利益DI及び新規受注DIが悪化しマイナス域となり、景況観DIは二桁のマイナス域となりました。売上高DI、利益DIは3期連続で下がっています。一方で、コロナの落ち着きと規制緩和による経済活動の高まりへの期待からか次期予想DIは5.0ポイント改善し15.5となりました。

経営上の問題点は「原材料の高騰」「仕入れ単価上昇」が3期連続でトップとなり、加えて「人材獲得難」「従業員不足」が上昇し続いています。これらはすべてコストアップ要因で、企業収益に影響が出ています。さらに今後、受注増に対応するという面からも人手不足は深刻な問題となると思われます。

特設項目では“インボイス制度”“最低賃金”“販売価格転嫁状況”“コロナ禍の新たな取り組み”について調査しました。インボイス制度の周知度については昨年同時期に同様の調査をしましたが50%の認知度から今回の調査では85%まで上昇しました。しかし2割以上の企業が「対策は考えていない」または「対象事業者がわからない」と回答しました。価格転嫁状況については、7割の企業が完全には価格転嫁できていない状況となりました。原材料など仕入れ上昇分のみならず、従業員の賃金を上げるためにも価格転嫁を進める必要があります。コロナ禍の新たな取り組みについては、取り組みを行っている企業は3割、計画中を含めても半数の企業に留まっています。残り半数の企業は「行っていない」と回答しました。

経営指針書の作成状況と景況観のクロス分析では、景況観はいずれの項目もマイナス域となりましたが、「作成し実践している」と回答した企業の景況感はマイナス域が一桁に留まりましたが、「作成に至っていない」「作成する必要はない」と回答している企業の景況感は二桁のマイナス域となりました。経営指針書を作成し、計画と見通しを立てることが重要です。

景気に停滞感がありますが、先行きへの期待値は上向き傾向となっています。しかしながら、今回の調査からは次期予想改善の根拠が見出せません。この環境に慣れ、期待感から楽観視するのではなく、自社分析を行い、強みを活かすなど企業変革に具体的に取り組む必要があります。

全体的な特徴

各指標悪化するも次期予想DIは改善

項目	第121回	第122回	変動幅
景況感DI	▲6.8	▲12.1	5.3 悪化
売上高DI	3.6	▲1.7	5.3 悪化
利益DI	▲14.4	▲15.1	0.7 悪化
新規受注DI	0.4	▲5.7	6.1 悪化
次期予想DI	10.5	15.5	5.0 改善

各指標DIは悪化し、景況観DIはマイナス二桁となりました。売上高DI、利益DIは4期連続で下がっています。一方、次期予想DIは引き続き改善を示しました。

No.	今期景況判断	業種	所在地	そのような結果の理由
1	非常に良い	製造業（生産財）	筑豊	新規を受ける余裕がないため
2	非常に良い	製造業（生産財）	県南	円安で製造業自体が仕事が増えた。また現在は同業他社の減少もあり、作り手を顧客が探す状況になりつつある。
3	非常に良い	サービス業（対事業所）	福岡	営業努力の結果です。
4	非常に良い	サービス業（対個人）	福岡	今年商業施設のオープンが続いたことと、事業幅の拡大や取引先の拡大などもスムーズに進み、運も良かった。
5	非常に良い	サービス業（対個人）	福岡	大口の契約があった
6	よい	製造業（生産財）	県南	コロナの影響から回復し、コロナ前の水準に戻ったため。
7	よい	製造業（生産財）	北九州	大型定修案件が各地で計画・実行されており多所から引き合いがあったため。
8	よい	製造業（生産財）	県南	電気代・レアメタル・金属塩など、消耗品価格が大幅に値上がりしたが、顧客への転嫁がある程度成功した。新規受注については、毎年欠かさず3~4回出展している首都圏・大阪での展示会での営業活動が功を奏している。ここ数ヶ月は、電気自動車に積載されるリチウムイオン電池の正極・負極間に設置されるセパレーターフィルム製造用ロールへの表面処理とバランシング案件が急激に増加してきた。
9	よい	製造業（消費財）	福岡	百貨店催事の出店が増えた
10	よい	製造業（消費財）	福岡	増収減益が顕著となっている。円安進行、物価上昇、国際情勢の不透明化からあらゆる材料費が上昇し、なおこの流れが続くと考えている。しかし、自社の顧客に対する価格反映はダンピング競争が続く中で難しい舵取りとなっている。

業種・従業員規模・地域別の特徴

業種別の動向
各業種マイナス域が目立ち、悪変も見られます。製造業（生産財）は景況DIが悪変していますが、その他の指標は改善しています。建設業は悪化が目立ちます。特に設備はすべての指標が悪化しており悪変も見られます。商業流通業は景況、受注が悪化も売上、利益は悪化緩和し。サービス業は対事業所は好転していますが、対個人は悪変しました。

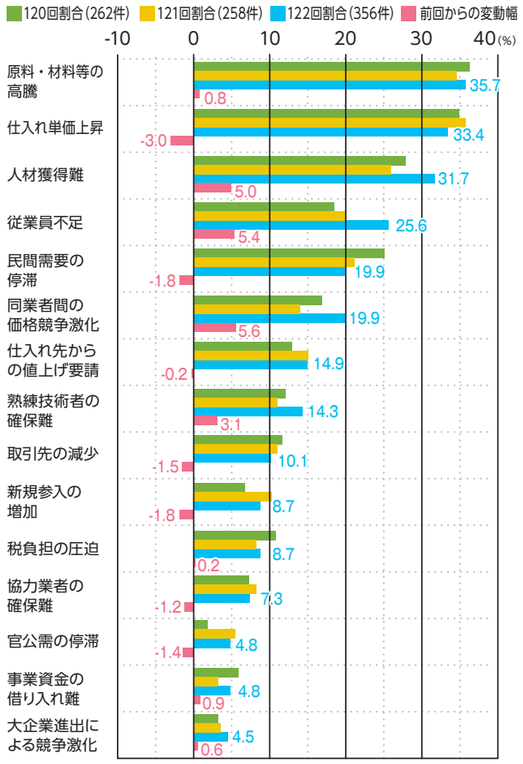
従業員規模別の動向
規模別動向を見ると、0～30名規模の企業では悪化が目立ちますが、31名以上の企業では悪化緩和の動きがみられます。

本社地区別の動向
福岡地区及び北九州地区では新規受注DIが悪変していますが、筑豊地区では新規受注DIは緩和しています。

経営上の問題点

原材料の高騰”と“仕入単価上昇”が3期連続トップ。人手不足も深刻な問題に。

“原材料の高騰”と“仕入れ単価上昇”は依然として高い数値を推移しています。次いで“人材獲得難”と“従業員不足”が上昇しています。これらは全てコストアップの要因で企業収益に影響があるとともに、人手不足も今後深刻な問題となると思われます。



主な項目をグラフにしております

業種別経営上の問題点

経営上の問題点を業種別に見ると、製造業では「値上げ要請」が問題点として挙げられています。建設業では「協力業者の確保難」「技術者の確保難」が共通の問題点となっています。商業流通業及びサービス業では「価格競争激化」が挙げられました。

%	全体	製造業（生産材）	製造業（消費財）	建設業（建築）	建設業（土木）	建設業（設備）	商業・流通業	サービス業（対事業所）	サービス業（対個人）
回答件数	355	25	27	35	11	24	39	106	88
原料・材料等の高騰	35.5	60.0	81.5	65.7	27.3	41.7	33.3	15.1	27.3
仕入れ単価上昇	33.5	44.0	40.7	60.0	45.5	50.0	61.5	17.0	19.3
人材獲得難	31.5	20.0	18.5	22.9	18.2	50.0	25.6	34.9	37.5
従業員不足	25.6	28.0	11.1	25.7	36.4	41.7	20.5	25.5	26.1
民間需要の停滞	20.0	32.0	33.3	11.4	9.1	25.0	20.5	20.8	14.8
同業者間の価格競争激化	20.0	24.0	11.1	20.0	18.2	12.5	25.6	19.8	21.6
仕入先からの値上げ要請	14.9	32.0	29.6	11.4	9.1	12.5	33.3	7.5	9.1
熟練技術者の確保難	14.4	20.0	14.8	11.4	45.5	37.5	2.6	13.2	10.2
取引先の減少	10.1	12.0	22.2	5.7	0.0	0.0	12.8	8.5	12.5
税負担の圧迫	8.7	4.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	16.0	12.5
新規参入の増加	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	11.3	15.9
協力業者確保難	7.3	0.0	7.4	22.9	27.3	16.7	0.0	7.5	1.1
官公需の停滞	4.8	12.0	0.0	0.0	18.2	4.2	0.0	8.5	2.3
事業資金の借り入れ難	4.8	0.0	0.0	2.9	0.0	8.3	5.1	5.7	6.8
大企業進出による競争激化	4.2	4.0	7.4	0.0	0.0	0.0	5.1	1.9	9.1
販売先から値下げ要請	2.0	0.0	3.7	2.9	0.0	0.0	5.1	2.8	0.0
輸入品による圧迫	1.4	0.0	3.7	0.0	0.0	4.2	5.1	0.0	1.1
金利負担の増加	1.1	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.6	0.9	1.1
その他	9.9	0.0	7.4	2.9	18.2	12.5	5.1	15.1	10.2

アドバイザーコメント
九州国際大学現代ビジネス学部教授 三輪 仁氏

今回は福岡県の地域経済の特性について取り上げさせていただきます。九州全域における福岡市への人口や経済力の一極集中がニュースなどでもよく目にします。そこで2018年度県民経済計算をもとに、福岡市と福岡県の付加価値生産額を比較し県全体に占める福岡市の割合を推計すると40%となりますが、これは宮城県における仙台市（54%）、京都府と京都市（62%）、広島県と広島市（48%）などの府県と比べると低い数値となっています。

その要因としては、福岡県には北九州市という政令指定都市であり全国屈指の工業都市を有するという二大都市構造にあることも挙げられます。しかし、2019年度福岡県市町村民経済計算をみると、付加価値生産額での県全体に占める割合は、福岡市40%、北九州市20%に対してその他市町村総計が42%となり、二大都市以外の地域の比率が最も高くなっています。このことからも福岡県は二大都市以外にも稼ぐ産業があちこちに存在する構造となっていることが伺えます。こうした構造は付加価値生産に限らず、2021年度経済センサスによると、事業所数（福岡市35%、北九州市19%、その他市町村46%）、従業員数（福岡市39%、北九州市19%、その他市町村42%）でも同様に、その他市町村の割合が最も高くなっています。

もう一度付加価値生産額に立ち返り、福岡市、北九州市、その他市町村それぞれの産業構成の特徴を見ると、福岡市では対事業所サービス業など広範な第三次産業が集積し、その比率は91%を占めるのに対し、北九州市でも第三次産業比率が最も高いものの製造業、建設業といった第二次産業の割合が25%を占めています。その他市町村には苅田町、宮若市などの工業都市が多いことから第二次産業の比率が29%に達しているほか、比率は低いものの第一次産業（農林水産業）も各地を特徴づける産業となっています。

そして特性の異なる地域が組み合わさることにより、県全体としての産業構成はその多様性やその構成比などにおいて、日本経済全体と類似したある意味バランスの取れた構造となっています。

このように産業的にも地域的にも複雑性、多様性を有した本県の経済の現況をより反映させるためにも、福岡市以外の会員の皆様にも景況調査へのより一層のご協力をお願い申し上げます。

資金繰りについて

資金繰り

カテゴリ	第121回	第122回	増減(%)
余裕あり	49	53	-2.8
やや余裕あり	49	66	1.2
普通	93	133	4.6
やや窮屈	49	51	-3.4
窮屈	16	22	0.5
不明	3	36	0.0
サンプル数	259	361	69

資金繰りDIはコロナ融資以降高水準が続いています。しかし「窮屈」と回答している企業は2割を超えています。

最低賃金引上げについて

最低賃金改定について

カテゴリ	件数	全体(%)
知っている	306	84.8
知らない	43	11.9
不明	12	3.3
サンプル数	361	100

経営指針の作成と実践

経営指針書の作成と実践

カテゴリ	第121回	第122回	増減(%)
作成し実践している	85	111	-2
作成しているが実践していない	59	93	3.2
作成に至っていない	95	133	0.4
作成する必要はない	14	14	-1.5
不明	6	10	
サンプル数	259	361	98

経営指針書の検証について

カテゴリ	件数	全体(%)
毎月検証している	41	11.4
毎月ではないが検証している	50	13.9
年に1回は検証している	19	5.3
全く検証していない	0	0
不明	251	69.5
サンプル数	361	100

経営指針書の作成と実践状況を見ると、今回の調査ではすべての項目が悪化していますが、「作成し、実践している」と回答した企業はマイナス域が一桁にとどまり、「作成する必要はない」「作成に至っていない」と回答した企業は二桁のマイナス域を推移しています。

12月 行事案内

EVENT SCHEDULE

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。
お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

1 木 18:30~20:30　中央支部 12月例会

望年会
■ **博多石焼　大阪屋**
福岡市博多区中洲5-3-16 ☎050-5232-4993

2 金 18:20~20:30　筑紫支部 12月例会

望年会
■ **吉丁** 筑紫野市二日市中央1-8-38 ☎092-921-3838

2 金 19:00~21:00　かすや支部 12月例会

望年会
一年の振り返りと来年への展望を語り合おう
■ **竹乃屋 吉塚店**
福岡市博多区吉塚本町13-30 ☎092-645-2800

2022年度広報情報化交流会

もう一度考え直したいステークホルダーとの付き合い方
～同友会理念の実現と2030ビジョンの実現に向けて～

12/3 土 13:30~19:00

■ **原鶴温泉 泰泉閣**　朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140
■ **田中　稔久 氏** 株式会社愛菜華田中ファーム 代表取締役(有明支部)
■ **栗山　浩 氏** 株式会社アーキテックス 代表取締役(南支部)
■ **髙橋　康徳 氏** 株式会社カウテレビジョン 代表取締役社長(福友和支部)

筑豊地区経営指針発表会

12/3 土 15:00~17:00

■ **田川情報センター**　田川市番田町2－1 ☎0947-49-3220

3 土 18:30~20:30　飯塚支部 12月例会

望年会
■ **パドドゥ・ル・コトブキ**　飯塚市片島1-7-62 ☎0120-225-138

10 土 18:30~20:30　のおがた支部 12月例会

望年会
■ **ギャラリーレストラン Buono**
直方市古町10-20 アートスペース谷尾内 ☎0949-23-1999

15 木 15:00~17:30　りょうちく支部 12月例会

地元高校進路指導担当者との交流会
■ **原鶴温泉泰泉閣**　朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140
■ **地元高校進路指導担当者(複数名)**

15 木 18:30~21:00　ひびき支部 12月例会

会員表彰例会
同友会運動を通じて本音で語り合える仲間と未来の話をしませんか?
■ **焼鳥 くしろく 黒崎店**
北九州市八幡西区黒崎2-7-4-2階 ☎093-645-1518

19 月 18:30~21:30　南支部 12月例会

南支部望年会
■ **博多百年蔵** 福岡市博多区堅粕1-30-1 ☎092-633-5100

20 火 19:00~21:00　博多支部 12月例会

博多支部望年会
マジックショーだヨ!全員集合
■ **福岡東映ホテル** 福岡市中央区高砂1-1-23 ☎092-524-2121

20 火 18:30~21:00　福友愛支部・福友和支部 12月例会

福友愛支部・福友和支部大望年会
■ **QUANTIC** 福岡市中央区天神2-3-33 6階会場 ☎0120-115-000

20 火 18:30~21:00　玄海支部 12月例会

2022年大忘年会
コロナをぶっ壊す!
■ **中国菜館福新楼** 福岡市中央区今泉1-17-8 ☎092-771-3141

20 火 18:00~21:00　糸島支部 12月例会

糸島支部望年会
冬ですよ!!糸島支部全員集合　リベンジ~縦の伊都はあなた　横の伊都は私~
■ **初音旅館** 糸島市志摩新町476-1 ☎092-725-7758

20 火 18:30~21:00　北九州支部 12月例会

よく頑張りましたね!!
表彰式
■ **ザ・ハウスオブ・リンドマール** 北九州市八幡西区東神原町2-23 ☎093-642-3655

20 火 18:30~21:00　田川支部 12月例会

望年会
■ **番田の里 田川稚加栄** 田川市番田町6-23 ☎0947-42-1245

20 火 19:00~21:00　大牟田支部 12月例会

経営方針、経営計画と経営指針書について
■ **グランドホテル清風荘(予定)** 大牟田市原山町2-4 ☎0944-56-1212
■ **林田　浩暢 氏** 合資会社若竹屋酒造場 代表社員(りょうちく支部)

21 水 18:30~21:00　東支部・青年支部 合同12月例会

大望年会
ザ・宴!交流は止まらないHA ~ HA !
■ **アークホテルロイヤル福岡天神**
福岡市中央区天神3-13-20 ☎092-724-2222

21 水 18:30~21:30　西支部 12月例会

西支部大忘年・クリスマス例会
■ **アルマリアン福岡** 福岡市中央区今泉1-22-17 ☎0120-945-977

21 水 18:30~20:00　有明支部 12月例会

「中小企業の経営者をネタにする」新作落語
■ **柳川市民文化会館　水都やながわ**
柳川市上宮永町43-1 ☎0944-73-7777
■ **桂　伸衛門 氏** 落語芸術協会　真打

22 木 18:00~20:30　宮城同友会南三陸支部・福博支部 合同12月例会

地方の活性化を目指す実践交流会
■ **グランドマスターズカフェ 百道店**
福岡市早良区百道浜1-3-70 ザ・レジデンシャルスイート・福岡1F ☎092-852-7788

23 金 18:30~20:30　久留米支部 12月例会

令和4年度　忘年会
■ **上海夢飯店** 久留米市東町495-1-1F ☎ 0942-39-8266

26 月 18:00~20:30　共育委員会 経営幹部研修

■ **福岡県中小企業振興センター会議室**
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-686-1234

27 火 時間未定　企業連携推進本部

■ **振興センター** 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-686-1234

【福岡地区】新春講演会

王道経営8×8×8の法則

1/16 月 18:30~21:00

■ **福岡国際会議場** 福岡市博多区石城町2-1 ☎092-262-4111
＋WEB会議システム「Zoom」(Zoomミーティング ID等は別途連絡)
■ **大久保　秀夫 氏** 株式会社フォーバル 代表取締役会長

【大牟田支部】新春祝賀会

中小企業はみんなのインフラ
同友会で学ぶ未来の創りかた

1/18 水 講演会 18:00~ 祝賀会 19:30~

■ **モーリアクラシック大牟田** 大牟田市上宮町1-8-8 ☎0944-51-5151
■ **川中　英章 氏** 株式会社EVENTOS 代表取締役(広島同友会)

【りょうちく支部】新春講演会

地域の中小企業の元気が、地域を元気に明るくする!

1/18 水 19:00~21:00

■ **るり色ふるさと館ホール** うきは市吉井町983-1 ☎0943-75-3343
■ **藻谷　浩介 氏** 株式会社日本総合研究所　主席研究員

【筑豊地区】新年祝賀会

大廃業時代の町工場生き残り戦略
~浜野製作所奮闘記~

1/20 金 18:00~22:00

■ **パドドゥ・ル・コトブキ** 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
■ **浜野　慶一 氏** 株式会社浜野製作所 代表取締役 CEO(東京同友会)

【久留米支部】新春講演会

新時代の組織づくりと社員教育(仮)

1/20 金 18:30~20:30

■ **萃香園ホテル** 久留米市櫛原町87-87 ☎0942-35-5351
■ **平木　洋二 氏** 株式会社丸信　代表取締役社長

【北九州地区】新年祝賀会

百年後の原点回帰　商人からコントラクターへ

1/26 木 18:00~22:00

■ **小倉リーセントホテル** 北九州市小倉北区大門1-1-17 ☎093-581-5673
■ **鹿田　和正 氏** 株式会社鹿田産業 代表取締役(福友和支部)

月刊 同友
12月号
2022
vol.677

会員からの投稿

フォト散歩 in 六本松

撮影・文／株式会社ココスイメージ
富谷 正弘（玄海支部）

52年前、六本松にある福岡大学附属大濠高等学校に西鉄電車の城南線で通学していました。懐かしい街です。

六本松は、大正11（1922）年に旧制福岡高等学校ができた後、九州大学教養部となり当時は九州大学六本松キャンパスもあって、学生の街となりました。学生向けの食堂や下宿屋さん、古本屋、パチンコ店、マージャン屋などで大いに賑わっていました。

九州大学の移転によって、平成21（2009）年には六本松キャンパスは伊都キャンパスに移り、跡地に裁判所、検察庁、弁護士会館、福岡市科学館、九州大学法科大学院、蔦屋書店ができて、街の顔も大きく変わりました。

西鉄電車に代わって福岡市地下鉄の七隈線が走り、来年には博多駅につながるようになります。

『青陵の街』六本松と呼ばれるようになり、学び、歴史が息付いた街の空気を感じます。

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか？

みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法	郵送、メールいずれも可。 表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。
テーマ	環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。
送付先	郵送／下記「月刊同友」編集部まで メール／ s_asahi@fukuoka.doyu.jp （福岡同友会事務局 旭まで）

“デザインQR”とは？

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくり・アンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。
スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL：092-686-1234 FAX：092-686-1230

［北九州地区センター］
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL：093-551-3111 FAX：093-551-3344

［県南地区センター］
〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL：0942-33-3355 FAX：0942-33-3366

［デザインQR］

今月の『月刊同友』はいかがでしたか？

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。
よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます　回答締切 12月31日（土）

環境を守るため再生紙を使用しています。